

輪島塗の歴史と文化

能登の風土は、輪島塗の製作に必要な材料をもたらす気候も適していました。また生産や販売の独自性は先人たちが工夫を重ね生み出してきたものです。輪島塗の永いあゆみは、作り手のたゆまぬ努力とともにあったといえるでしょう。

本展では、輪島塗を支える技術と道具、作品の数々を通じて、輪島塗の歩んできた道りをご紹介します。産地として発展した江戸時代から様々な生活漆器が作られた近代、作家たちが飛翔する現在へとつながっていく歴史と文化をご覧ください。

作品名	作者名	製(制)作年代	備考
1 朱漆塗八隅膳・椀		1669年(寛文9)	宮崎高志氏寄贈
2 朱漆塗田神様膳・椀		1796年(寛政8)	宮崎高志氏寄贈
3 朱漆塗麩皿		1862年(文久2)	松尾進馬氏寄贈
4 朱漆塗菓子椀		19世紀後半(江戸後期)	松尾進馬氏寄贈
5 青漆吸物椀		1862年(文久2)	松尾進馬氏寄贈
6 朱漆塗二枚足膳・椀	小路 善次郎	1926年(大正15)輪島漆器六職共進会銅牌	小路弘一氏寄贈
7 朱漆塗梅形膳	角野商店 角野勝次郎	20世紀前半(大正～昭和前期)	角野島江氏寄贈
8 黒漆塗手付盛器	川端漆器店 椀与	1945年(昭和20)	粟倉悟氏寄贈
9 曲輪造籃胎鉢	小森 邦衛	1986年(昭和61)第26回石川の伝統工芸展	佐藤万里子氏寄贈
10 乾漆魚子塗三脚盤	塩多 淳次	1988年(昭和63)第35回日本伝統工芸展	
11 沈金富士山形大平		20世紀前半(明治後期～大正)	宮崎高志氏寄贈
12 老松沈金五つ組杯・杯台		1892年(明治25)	
13 雪月花沈金吸物椀	輪島商会 細田實	1921年(大正10)	永井久氏寄贈
14 更紗彫手提重		1924年(大正13)	松本昌平氏寄贈
15 溜塗菊素彫盆	角野商店 角野勝次郎	20世紀前半(大正～昭和前期)	角野島江氏寄贈
16 唐子象嵌四段小重	古坂 公平	20世紀(大正～昭和)	正門昭雄氏寄贈
17 潤塗四君子沈金火鉢	前 大峰	20世紀(昭和時代)	
18 沈金色絵箱「冬華」	竹園 紫園	1998年(平成10)第15回日本伝統漆芸展	竹園須磨子氏寄贈
19 唐獅子牡丹漆絵蒔絵盆	中江 九平 松九	19C後半～20C前半(明治～大正)	牛腸正利氏寄贈
20 松鶴蒔絵膳・椀	輪島商会 細田實	1928年(昭和3)	永井久氏寄贈
21 千鳥の図箱	佐藤 貞一	1935～1944年(昭和10年代)	
22 銀地渦波文飾皿	勝田 静璋	20世紀(昭和時代)	粟倉理子氏寄贈
23 「湖畔之憩」	竹園 自耕	1955～1964年(昭和30年代)	熊野喜一氏寄贈

作品名	作者名	制作年代	備考
24 柚子蒔絵手篋	小田原 俊雄・塩多 慶四郎	1957～1958 年頃(昭和 32～33)	塩多しげ子氏寄贈
25 乾漆黒漆塗輪花盆	出坂 道友	20 世紀(昭和時代)	粟倉悟氏寄贈
26 千代寿組盆	井波 唯志	20 世紀(昭和～平成)	杉森学氏寄贈
27 「冬の幻想」	居村 稔	1986 年(昭和 61)第 25 回日本現代工芸美術展 現代工芸会員記念賞	
28 切金漣華文箱	江端 俊	1989 年(平成元)第 36 回日本伝統工芸展	
29 「崇神」	谷内 直人	1989 年(平成元)第 11 回日本新工芸展	
30 「Moon Light」	角 康二	2001 年(平成 13)第 33 回日展	
31 波に片輪車蒔絵平棗	田崎 昭一郎	2007 年(平成 19)	小林宮子氏寄贈
32 縄目文蒔絵箱	田中 義光	2007 年(平成 19)第 24 回日本伝統漆芸展	日本工芸会賞
33 沈金箱「間垣の里」	水谷内 修	2008 年(平成 20)第 55 回日本伝統工芸展	日本工芸会奨励賞
34 鹿木地蒔絵棗	内野 薫	2009 年(平成 21)第 50 回石川の伝統工芸展	小林宮子氏寄贈

*備考欄に所蔵者表記のないものは、輪島市所蔵の作品です。

年末休館のお知らせ 12月29日(金)～31日(日)は休館いたします。

新年は元日午前9時から開館!

数量限定!
新春福袋販売
2000円★限定10個
わんじまや美術館の
グッズ入り

**わんじまの
お菓子プレゼント**
*入館券が必要です
新春ゲームコーナー
*無料で遊べます

かがやきナイトミュージアム
太陽光発電LED等による
屋外イルミネーション
2018年3月11日(日)まで
輪島市漆の里広場
*観覧料不要・無料駐車場完備

新年3日(水)までの限定特典!

